

# 学校だより

～北斗ブルー～



北海道北斗高等支援学校

第2号

令和4年8月26日発行

文責 吉野隆宏

## 「自己理解について考える」

教頭 渡辺 祐介

令和4年度が始まり、5ヵ月が経過しようとしています。新型コロナウイルス感染症の影響はなかなか収束しませんが、学校の教育活動については、大きな事故等なく、実施することができました。御家庭の協力の下、第2、3学年第Ⅰ期職場実習、第1学年の宿泊研修等、感染症対策を徹底しながら進めてまいりました。特に、清溪祭は2日間の日程で開催することができました。一昨年は中止、昨年は1日日程であり、生徒のみなさんにとっては初めての2日日程でした。生徒会企画、有志ステージ、ステージ発表、物品販売と盛り沢山の内容でしたが、生徒のみなさんはそれぞれ責任をもって取り組み、思い出に残る行事となったのではないのでしょうか。学年及び学校の枠を越えた取組は、今後の学校生活の充実につながると思いますので、生かしてほしいと考えています。

さて、先日、ある校長先生と協議する機会がありました。その校長先生は、「一人一人のよさや可能性を生かすには『自己理解』が大切である」とおっしゃっていました。

「自己理解」とは、いくつかの手段により自分の気質、性格、ある種のタイプ、価値観、考え方、態度・行動などを深く知り、それを自分自身が納得して受け止めている状態のことです。「自己理解」は3方向から考察すると、より深くなるようです。

1つめは自己分析で、過去の出来事や経験などから、自分の行動を具体的に振り返ってみます。同じことを経験していても、人によって考え方や感じ方、どんな行動をするのかは様々です。過去を振り返り、印象に残っている出来事を思い出していく中で、学んできたこと、自分の強みなどが分かり、失敗したと思うことや後悔している点を探っていけば弱みも明確になります。

2つめはデータの活用です。本校においても、「Vineland-Ⅱ」を活用し、適応行動の発達水準を幅広く捉え、日々の教育活動だけでなく、将来の職業生活に生かす取組を行っています。ここで留意しておきたいのは、結果はあくまでも自己理解のきっかけとしてのデータであり、本人の行動の傾向について考察を促す材料であるということです。必ずしもデータと実際が合致しているわけではありません。

3つめは他者からのフィードバックです。自己評価と他者評価は必ずしも一致するとは限りません。他者の思いを受け止め、自分を否定することなく、その思いを受け止めることができれば、視野や可能性が広がることが期待できます。頻繁に褒められていることから、新たな視点で自己理解を深めることができるかもしれません。

将来の自己実現に向けて、「自己理解」は重要な要素と考えられます。御家庭においても、話題にしていただければ幸いです。今後も学校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## 第3学年 第Ⅰ期前提実習

3年生の第Ⅰ期前提実習を6月2日～27日に行いました。前提実習とは2年生までの職場実習とは違い、卒業後の実際の労働を前提とした実習で、企業の戦力となるかどうかの判断をいただきました。この実習を通して気づいた課題と向き合い、次回は9月末から実施予定の第Ⅱ期前提実習に挑みます。



# 第60回清溪祭

テーマ For A Moment ～この時しか出来ない思い出を～

上磯高等学校と北斗高等支援学校が合同で行う学校祭“清溪祭“を、7月16日(土)～17日(日)に行いました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、来校者を生徒の家族、親族2名のみにするなど、規模を縮小して制限のある中での開催となりましたが、準備期間も含めて生徒たちにとって楽しい思い出となったようです。

## 1日目:生徒会企画・ステージ発表

午前には生徒会企画のゲームと有志ステージ発表、午後は上磯高校と北斗高等支援学校の学年ごとのステージ発表を行いました。



## 2日目:ステージ公演・物品販売

大道芸チームのステージ公演を鑑賞した後、縦割りのグループ毎に実習でお世話になっている企業や施設のお弁当やお菓子などを販売させていただきました。



## 部活動紹介

今年度は陸上・フットサル部が活動休止となり、文化部が活動を再開しました。



### ティンボール・バスケットボール部

ティンボール・バスケットボール部は、生徒12名で活動しています。8月13日(土)に函館オーシャンスタジアムで開催された第5回オーシャンドリームティンボール大会において、見事4連覇を達成しました。少ない人数ですが、全員で協力し、声を掛け合いながら、冬の全道大会に向けて練習を続けていきます。



### バドミントン部

設立2年目の今年は、3年生7名、2年生1名、1年生4名の計12名で活動しています。ゲームではラリーが続く白熱した展開が多く見られるようになりました。また、厳しいフットワークの練習では、上級生が下級生を励ましながら取り組む様子も見られています。



### 文化部

文化部は3年生1名、1年生3名の計4名で活動しています。トーンチャイムやバンド演奏などの音楽的活動と、スクラッチアートやシールアートなどの美術的活動を行っています。清溪祭では作品展示を行い、有志ステージでバンド演奏を映像で披露しました。

### <お知らせ>

次回は12月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子をお伝えします。

※ホームページもどうぞご覧ください。

<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。  
<連絡先>

北海道北斗高等支援学校(上磯高等学校 併設)

北斗市中野通3丁目6番1号

TEL:0138-74-3431 FAX:0138-74-3435